

道東経済と台湾経済～観光と鉄道から考える

今年の9月から、毎週金曜日に釧路空港と台北空港を結ぶ国際定期便が運行されるようになりました。台湾は、歴史的にも日本との関係が深く、治安も良いうえ、食べ物も美味しく、観光政策や産業遺産の保護にも力を入れていることから、毎年多くの日本人旅行者が訪れています。また、道東地方は、ほかに類をみない雄大な自然にめぐまれていることから、日本国内はもとより、アジアをはじめ外国人観光客にとってもあこがれのエリアになっています。

本セミナーでは、「観光と鉄道」をテーマに、九州よりもやや小さい面積の台湾を走る台湾新幹線や振り子式の「タロコ号」といった最新の列車、復元されたSLや観光鉄道、森林鉄道の阿里山鉄路などの台湾鉄道の魅力とともに、台湾の最新情報などについて、片倉佳史氏が講演を行います。また、道東地方では、その美しさから車窓日本一といわれる釧網本線を走るSL冬の湿原号やくしろ湿原ノロッコ号、さらには日本離れした風景の中を走る花咲線などをとりあげ、鉄道を生かした釧路の観光について星匠氏が講演を行います。

日時

平成24年10月5日(金)14:00～17:00

日程

14:00～15:00 講演「道東の観光と鉄道」
講師 星匠氏
15:00～16:30 講演「台湾の観光と鉄道」
講師 片倉佳史氏
16:30～17:00 質疑応答

場所

釧路公立大学 1階 第1会議室
(釧路市芦野4丁目1番1号)

裏面に講師紹介、申込先等を記載しております。

講師紹介

片倉佳史(かたくら よしふみ)氏＝台湾在住フリーランス・ライター

1969年神奈川県生まれ。早稲田大学教育学部卒業後、出版社勤務を経て台湾と関わる。地理・歴史、原住民族の風俗・文化、グルメ、鉄道などのジャンルで執筆・撮影を続けており、著書に『台湾に生きている日本』(祥伝社)、『台湾 鉄道の旅』(JTB キャンプックス)、『台湾鉄路と日本人』(交通新聞社)、『台湾に残る日本鉄道遺産』(同)など多数。台湾でも『台湾風景印－台湾駅スタンプと風景印の旅』、『道東の達人』などを刊行。FM 釧路でレギュラー番組を持つほか、ウェブサイト台湾特捜百貨店(<http://katakura.net/>)を主宰。

星匠(ほし たくみ)氏＝「釧路臨港鉄道の会」代表

1960年釧路市生まれ。北海道釧路湖陵高等学校卒業後、国鉄、JTBを経て1992年から釧路新聞社勤務。2003年に釧路地方の鉄道愛好家が集まり、「釧路臨港鉄道の会」発足(HP「つれづれ鉄道日記」参照)。鉄道ツアーの企画やガイド、臨時列車の企画、鉄道模型運転会などを手掛けている。著書にグループ 169.1『北海道 釧網本線』など。

お申込み方法

9月28日(金)までに別紙「参加申込書」をEメール
またはファクシミリでお送りください。

お申込み・お問合せ先

釧路公立大学地域経済研究センター

メールアドレス：r-center@kushiro-pu.ac.jp

ファクシミリ番号：0154-37-5376

電話番号：0154-37-5325